

ポラリスを仰ぐ北の大地から

警察嘱託医を35年務めて この春叙勲されました

上川北部医師会 会長 ^{さかた}坂田 ^{ひとし}仁

私が医師会長を務める上川北部は旭川以北、和寒町から中川町までの南北140km、東西55kmの広い地域に2市5町1村が含まれ、警察署が名寄市と士別市の2ヵ所に設置されている。私の担当する名寄警察署は名寄市、下川町以北で上川北部の約2/3の面積を管轄している。

私は、父が警察嘱託医であったことから、昭和62年に父の後を継ぎ今年で35年目となり、春の叙勲を受けることになった。警察嘱託医の仕事は警察署員、留置人の健康管理のほか検死業務も含まれている。

警察嘱託医になった当初は名寄市、風連町、下川町が管轄で、当時は現場で検死することが多く、夜間休日でも日中の診療中でも現場に連れて行かれた。その後、検死業務に検視官の臨場することが多くなり、警察署の遺体安置室での死体検案となったため、検死時間に融通が利くようになった。また、検死時には身体所見のほか髄液、心臓血、尿の採取が死因特定につながっていたが、近年、CTが診断に利用されるAI (Autopsy Imaging) が行われるようになった。

私の父は解剖学教室で学位を受けたことから、旭川医大ができるまでは法医解剖を行っていて、学生時代の夏休みに稚内での溺死事案に連れて行かれたことがあった。当時は古い病院に解剖室もあり、私以上に激務だったと思う。父は68歳の時に勲五等旭日双光章を受章し、母と共に皇居で天皇陛下からお言葉を賜った。

私は10年前に警察協力章（警察庁長官表彰）を受章し盛大に祝賀会を行っていた。この度の瑞宝双光章の受章は新型コロナウイルス感染症の影響により皇居での天皇陛下への拝謁はかなわなかったが、警察署長はじめ警察署員の皆さんに心のこもったお祝いをしていただいた。署員皆さんのおかげで長く続けることができ、皆さんと一緒に受章したものと感謝の気持ちを伝えた。

今年もすでに25件の検死を行い、現在700件を超えたところである。これからも出来る限り名寄警察署、地域のお役に立って行こうと思う。

三人の先輩先生たちのご引退

根室市外三郡医師会 会長 ^{すぎき}杉木 ^{ひろゆき}博幸

当医師会では、この一年間で三人の先生たちがご引退されるということになった。

江村精神科内科病院の江村裕司先生が、令和3年11月8日ご逝去された。享年72才。根室市出身の医師として、地域に深い愛情を持ち、精神科医療および高齢者福祉に対し情熱を傾けられ、地域医療の向上に邁進されてきた。当医師会においては会長を2期4年務められ、その温かいお人柄で会員を束ねてこられた。また後進の面倒をよく見られ、会員相互の連携の為に尽力されてきた。江村先生のご逝去は当医師会および地域にとって大きな損失である。先生のご功績に心から敬意を表しご遺徳を偲ぶところである。

根室市で開業されておられた川上恒紀先生が、令和4年2月で川上小児科医院を閉院された。1985年に開院後36年間、地域の小児科医療を守り、子供たちの健全な成長を支えてこられた。また定期健康診断、予防接種をはじめ学校医などとしても活躍された。当医師会では、副会長を6期12年務められた。

中標津町で開業されている富沢古志郎先生が、令和4年11月末で富沢内科医院を閉院されることになった。1981年に開院後41年間、地域に根差した医療を展開された。酪農家や会社員ら働き盛りの人たちが、仕事前に受診できるようにと、午前5時から診療を開始しておられた。また当医師会の会長を4期8年務められた。

両先生ともに根室地域の円滑な保健・医療・福祉の向上や、医師会の公益的な活動を推進された。これらのご功績は誠に大なるものである。2つの医院の閉院を惜しむ声も、住民の間で広がっている。先生たちはこれからも地域の中で、産業医や学校医、予防接種などの活動を行っていただける。これからもご健康にご留意され、ご活躍されることをご祈念申し上げるとともに、残されたメンバーで連携し地域医療を守っていくことをお誓い申し上げます。

